

SEMICON JAPAN 2017 参加報告

2017/12/26

群馬大学 理工学府 電子情報

T161D096

柳田朋則

[SEMICON JAPAN 2017](#)に参加したので報告させていただきます。

日時：2017年12月13日（開催期間12月13日～15日）

会場：東京ビッグサイト

SEMICON は半導体技術の国際的な展示会である。主な展示物は一般の方には馴染みのうすい半導体製造装置やハンドラ(産業用ロボット)である。多くのブースには商談スペースが設けてあり、企業が企業に向けた展示会という趣旨が強い。会場内は外国の方も含め多くのビジネスマンが来訪しており、活発に商談や議論が交わされている様子うかがえた。モーターショーやゲームショーのような B to C な展示会とは雰囲気が違う。SEMICON と同時に World of IoT も開催されており、人工知能やドローン等の最新技術も垣間見ることができた。

私が来年度から就職予定の企業(以下自社)が出展するため、業界研究と自社の立ち位置を確認するために参加した。自社ブースで説明を受けて気付いたことだが、自社製品を商業的な目線で見るとは初めてだったと思う。つまり営業の方と初めて話し、製品の魅力をお客さん視点で聞いたのだ。B to B 企業であるため、このような機会が今まで無かったのだろう。就職活動中の企業説明会などでは「技術的に凄い」というベクトルで話され「凄さ」だけが伝わる。しかし今回は「買えばこんな凄いことができる」と具体的に使うイメージができた。中には個人的に欲しいとまで思ってしまった製品もあった。このような今更ながらの発見もあり、大変有意義だった。

会場内では未来カレッジという学生向けのイベントが開催されていた。社員との懇親会や半導体業界について分かりやすい説明をしており、企業側の「多くの優秀な人材を集めたい」という強い意志が感じられた。普段生活している中ではまず名前を聞かない企業が多い業界であるため、SEMICON の場は学生にアピールするまたとない機会であろう。学生も、特に就職活動を控える学生にとっては、かなり勉強になるイベントだと思う。